

THE LATEST DOSHISHA

●第13回新島襄先生生誕記念会

2月9日(金)

「新島襄先生と新島学園」

講師 大前幸正(新島学園高等学校長)

●第20回新島講座

第1回講演 「朝鮮における風流道」

5月21日(火)

第2回講演 「キリスト教と風流道」

5月22日(水)

講師 柳 東植(延世大学名誉教授)

於神学館礼拝堂

法人部

法人事務部

●同志社教職員研修会

「キリスト教と平和学の間」

1月20日(土)

講師 岡本三夫(広島修道大学教授)

●早天祈禱会

1月23日(火)

於 若王子山頂

●新島襄先生永眠碑前祭

1月23日(火)

於 大磯町

大学

●教員研究活動報告書を出版

自己点検・評価運営委員会(戸高敏之委員長)が「教員研究活動報告書―1995―」

を出版し、ほとんどの本学教員の研究活動を概要が俯瞰できるようになった。これまで、学内的にはすでにいくつかの学部などで「自己点検・評価報告書」が公表されているが、全学教員の研究活動を網羅する報告書

を外部に公表したのははじめてで、この「報告書」は本学にとっては画期的と言えよう。「報告書」はA4版47ページで、学歴など各教員のプロフィールと、主要業績、最近5年間の研究業績、その他の研究活動などで構成されている。

本学の自己点検・評価活動ではこのほど、教育研究自己点検・評価委員会が、学生の受け入れ、教育課程、教員組織等に関する「教育研究」自己点検・評価報告書―1995―をとりまとめたが、これに先に発行された学生サービス関係自己点検・評価委員会の「報告書」、学術情報センターの「報告書」、施設部の「報告書」等を加え、自己点検・評価運営委員会のもとで「全学報告書」が作成されている。

●早稲田大学との学生交流が97年度から開始

同志社大学は早稲田大学との間に、来年度から学生を相互に派遣しあう「交換留学

制度」をスタートさせるという、わが国の大学間ではきわめて珍しいタイプの学生交流協定を締結した。調印式は七月二十四日早稲田大学で行われ、岩山太次郎本学学長と奥島孝康早稲田大学総長が協定書を取り交わした。

この学生交流協定は、両大学がそれぞれ推進してきているカリキュラム改革の一環として導入するもので、同志社の学生がわが国の政治・経済・文化の中心である東京で、早稲田の学生が日本文化のルーツであり歴史と伝統を誇る京都でと、異なる地域・風土に1年間住み生活体験しながら学ぶというものである。

これまで、たとえば「京都・大学センター」が行っている単位互換制度のように、特定地域内の複数大学間での学生交流の例はあるが、関西と関東のように異なる文化圏間で長期的に、いわゆる「国内留学」し、かつ派遣先で取得した単位を卒業単位として認

定する制度は、わが国では珍しい。

早稲田と同志社は相通じる建学理念を持ち、創立以来深い交流があった。たとえば、新島襄と大隈重信の親交。さらに同志社英学校出身者が数多く東京専門学校（現早稲田大学）で教鞭をとったこと。その中には、坪内逍遙とともに早稲田大学文学部の草創期に偉大な役割を果たしたとされる大西祝を筆頭に、後年早稲田の礎を築いた安部磯雄（早大野球部の父）、浮田和民（早稲田政治学の源流を形成）、安部賢一（早稲田大学第八代総長）らがいる。今回の学生交流はそのような両大学の関係の再構築とも言え、結びつきをさらに深化、発展させるものとして期待されている。

この学生交流は全学部の二年生以上が対象で、一年間、相互に十人程度が留学する。交換学生は所属学部に関係なく学部を選べ、原則として通常の学生と同様に扱われるほか、相手の大学で取得した単位は三十

単位を限度に卒業単位として認定される、などが骨子となっている。募集は今年十一月に行われ、来年一月に派遣学生決定。四月一日から翌年三月三十一日までが留学期間である。

1996年度同志社大学公開講座

今年も本学歴史資料館（人文系）および理工学研究所（自然系）等の協力を得て、5月から始まった「同志社大学公開講座」も好評裏に前期の予定を終了した。

本年は人文系講座を土曜日に移したことや各種宣伝の効果もあってか、両講座とも昨年よりかなり応募者が多く、人文系では大幅に定員をオーバーし、多くの方にお断りの葉書を出す事態となった。応募者の居住地も、大阪、奈良はもちろん、滋賀、兵庫、遠くは愛知、三重、岐阜などに及んでいる。5月15日には自然系講座の第1回目として本学の西岡一工学部教授による「見直そう、あなたの食卓」と題する講義が行われ

た。約250人の受講者は熱心に聴講し、講義終了後も質問が相次いだ。

次いで5月18日には約300人の受講者を迎えた。第1回目の人文系講座が開催された。京都大学名誉教授で現在大阪女子大学学長である上田正昭氏が「渡来文化の諸問題」というテーマで講義された。

(表1)

人文系			人文系		
テーマ 考古学に歴史を読む — 日本古代史と渡来文化 — 南山城の人々と道群 —			テーマ 人と自然 — 環境としての食品・成長期の環境 —		
月日	講義テーマ・内容	講師	月日	講義テーマ・内容	講師
(前期)			(前期)		
5/18 (土)	開講にあたって 渡来文化の諸問題 大陸系文化と須恵器	文学部教授 森 浩一 大阪女子大学学長 上田正昭	5/15 (水)	見直そう、あなたの食卓 豊かな日本と、いのちの危機	工学部教授 西岡 一 京都府立大学文学部教授 槌田 劬
6/15 (土)	秦氏とその文化	京都文化博物館学芸員 山田邦和	5/22 (水)	淡路島の奇形ザルその後	京都府立大学文学部助教授 好 廣 眞 一
6/29 (土)	相楽の館と高麗寺	京都府立大学教養部教授 井上満郎	5/29 (水)	生物教師の見た環境教育	理工学研究助教授 光田重幸
(後期)			(後期)		
10/12 (土)	宇治橋と泉橋	山城町教育委員会 中島 正	10/23 (水)	宇宙のリズムでやさしいお産を	あゆみ助産院院長 左古かず子
10/19 (土)	磐之媛伝承と筒木の韓人	京都府立大学教育助教授 和田 萃	10/31 (木)	森のなかで幼児教育	福知山女子大学幼稚園長 小笠原陽子
11/16 (土)		校地学術調査主任 辰巳和弘	11/6 (水)		

本年度の各講座の内容は表1の通りである。前期の受講者総数は、自然系62人、人文系72人となっている。

●同志社大学リカレント学習講座

「企業の環境戦略」(キリンビール寄付講座)

京都地域リカレント学習講座は、京都地域リカレント教育推進協議会と講座設置大学との共催により実施され、社会人および職業人を対象とした体系的で、かつ継続的な講座をその内容とするものである。また、学習講座の修了者には、修了証書が交付されることとなっている。

本学においても「企業の環境戦略」という講座名で、今年度リカレント学習講座開設することとなった。この講座開設に当たっては、従来より環境問題に対して熱心に取り組んでおられるキリンビール株式会社より、本講座運営支援のための寄付申込みをいただいた。この寄付金の受け入れにより、内容においてさらに充実度の高い講座とすることが可能となった。

本講座への応募者の中には職業人も多く、一般企業等の環境問題に対する関心の

高さをうかがい知ることができる。5月9日の第1回は、本講座のコーディネートでもある郡島孝経済学部教授により、「企業と環境問題…序論」というテーマで実施され、受講生は熱心にペンを走らせていた。

今後、企業における環境問題の分野では、日本のトップクラスの方々と講師陣に迎え、12月19日までの間、計15回開催される予定である（講座スケジュールは表2のとおり）。受講生の期待に充分応えうる内容を提供することができるであろう。

なお、講座定員に若干の余裕があり、受講を希望される方は教務課まで申し込んでいただきたい。（受講料15000円）

●平成8年度私立大学ハイテク・リサーチ・センターの選定を受ける

平成8年度私立大学ハイテク・リサ

(表2)

回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
月 日	5/9 (木)	5/16 (木)	5/23 (木)	5/30 (木)	6/6 (木)	6/13 (木)	6/20 (木)	10/3 (木)	10/17 (木)	10/24 (木)	10/31 (木)	11/21 (木)	12/5 (木)	12/12 (木)	12/19 (木)
講座内容(テーマ等)	企業と環境問題…序論	企業行動と地球環境問題	「社会が企業に求めるもの」と「企業が社会にコミットするもの」	企業の社会的貢献	環境リスクと企業	企業と廃棄物問題	環境管理システムと中小企業の対応	環境会計(トータルコストアセスメント)について	エコバランス会計とLCA	環境ラベルについて	環境マネジメントシステムと環境監査	ISO14000をめぐる諸問題	企業のケーススタディ(1) —塩野義製薬における環境管理—	企業のケーススタディ(2) —プロクター・アンド・ギャンブルの環境管理展開—	企業のケーススタディ(3) —武田薬品のリスボンスケア対応—
講 師(職・氏名)	郡島 孝(経済学部教授)	水谷 勉 (経済学部非常勤講師/大学院総合政策科学研究科非常勤講師)			法政大学講師/AIU環境保険室室長 大岡 健三	佐野環境都市計画事務所 代表取締役 佐野 敦彦	(株)YBAインターナショナル代表 吉岡 庸光	郡島 孝(経済学部教授)			(株)日本環境認証機構 代表取締役専務取締役 福島 哲郎	塩野義製薬(株) 環境管理室室長 浜嶋 尚義	P&Gフアー・イースト・インク 日本本社/神戸テクニカルセンター 研究開発本部 P&RS/R&CD部課長 玉虫 完次	武田薬品工業(株) 環境管理室審議役 中井 嘉一	

* 時間は18時25分〜19時55分

* 講師の都合等により、一部日程の変更が生じる場合があります。(開講曜日、時間の変更はありません)

ーチ・センター整備事業に、工学研究科が申請していた、「ナノ構造ハイブリッドデバイス物性の研究」のプロジェクトが選ばれた。

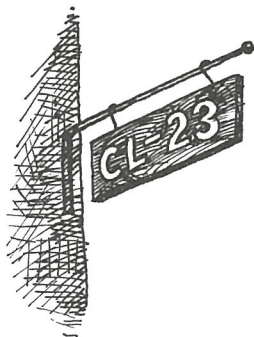
同事業は、私立大学の大学院研究科や研究所の中から最先端の研究開発プロジェクトに対する、ハード、ソフト両面にわたる総合的な支援を行うことを目的に、本年度の政府予算で創設が認められたもので、22大学22プロジェクトが選定された。今回この事業に選定されたことにより、同研究科では超微細ナノ構造システム研究センターを創考館に開設し、インターネットやパーソナル電話の発展により注目されている電子機器の小型集積化と、高周波化にともなう新機能材料の創出に向け、同志社大学はもとより、わが国の科学技術の発展に寄与し得るものと期待を寄せている。

●その他のニュース

1997年度の入学選抜から、入学選抜の多様化をはかるため、神学部・文学部

(第1部) 英文学科・経済学部(第1部)・商学部(第1部)・工学部の各学部において、入学定員の一部について大学入試センター試験を利用する入試を実施する。

1996年4月から、就職活動をする学生が、リアルタイムな情報収集や就職チャンスを広げることができるよう就職部インターネット利用室を開設し、インターネット、CD-ROM、電子メールなどが利用できるマルチメディア端末を20台設置した。



女子大学

●第4回日本語日本文学科公開講演会

1月17日(水)
ロシア人の目で見えた日本文学”
講師 リュドミラ・エルマコワ

(ロシア科学アカデミー東洋学研究所極東文学課長国際日本文化研究センター外国人客員研究員)
於 新島記念講堂

●1995年度学内礼拝奉仕者感謝会

1月18日(木)

●同志社女子大学教職員聖書研究会

1月18日(木)

●社内校入試

1月20日(土)

●食物学科卒業研究発表会

1月22日(月)～23日(火)

●音楽学科公開卒業試験

(オルガン) 2月7日(水)

(声楽) 2月10日(土)

(チェンバロ) 2月10日(土)

(木管楽器) 2月11日(日)

(弦楽器) 2月12日(月)

●音楽学科公開卒業論文発表会
(金管・打楽器) 2月19日(月)

●第三次編入学試験および第三次編入学試験(社会人)
2月23日(金)

●第三次編入学試験および第三次編入学試験(社会人)
合格発表表 3月5日(火)

●声楽アンサンブルオペラ

「フィガロの結婚」 2月25日(日)

●日本語日本文学科卒業研究発表会

2月19日(月)

●家政学研究科修士論文発表会

2月19日(月)

●家政学科卒業研究発表会

2月20日(火)～21日(水)

●スキーキャンパス

3月4日(月)～9日(土)

●卒業礼拝 「門をたたく」

3月16日(土)

●新入生学外オリエンテーション
講師 村上 伸(東京女子大学教授)

(短期大学部) 4月4日(木)～5日(金)

(学芸学部日本文学科) 4月13日(土)～14日(日)

●春期宗教教育強調週間

●《頌啓会》特別専修生修了演奏会
4月15日(月)～20日(土)
4月27日(土)～28日(日)
於 頌啓館ホール

●キャンパス見学会

於 田辺・今出川両キャンパス
4月28日(日)

●音楽学科入試説明会 (教員対象)

5月15日(水)

●春期リトリート

「地球時代と私たち」

講師 桃井和馬(フォトジャーナリスト)

講師 岸田綾子(フォトジャーナリスト)

於京都府立ゼミナール

●音楽文化専攻公開講座

「音楽療法について」

講師 栗林文雄(北海道医療大学助教授)

栄光会役員会 5月16日(木)

●ウアイオリン公開レッスン

於京都ロイヤルホテル

講師 ペラ・カトーナ

5月22日(水)

●教員対象入試説明会

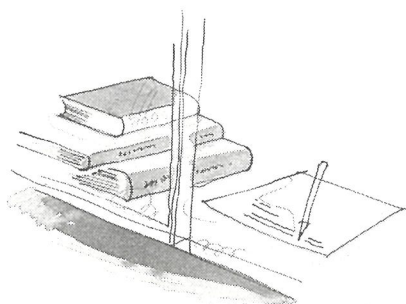
於大阪ヒルトンホテル

5月29日(水)

●教員対象入試説明会

●《頌啓会》講演会
講師 佐渡 裕

5月30日(木)
於マリアージュ
6月8日(土)



高等学校

● 新任講師オリエンテーション

4月6日(土)

● 入学式

4月8日(月)

新入生四〇七人うち女子二一五人(うち外部中学出身者四四人) 男子一九二人(うち同五一一人)

● 健康診断

4月23日(火)

● 遠足(8日(水)の雨天変更)

5月15日(水)

● 中間試験

5月24日(金)～29日(水)

● 宗教週間

6月3日(月)～8日(土)

講師 荒川共生(関西セミナーハウス)

佐藤 剛(同胞の家)

上村順一郎(早稲田教会)

平沢 茂(バプテスト・ホーム)

● 教育実習

6月3日(月)～15日(土)

キリスト教科三人ほか十九人

● 保護者個別面談

6月10日(月)午後一時～

● 期末試験

7月4日(木)～9日(火)

● 二・三年生団体鑑賞

7月10日(水)

劇団コロロ「だれが石を投げたのか」(原

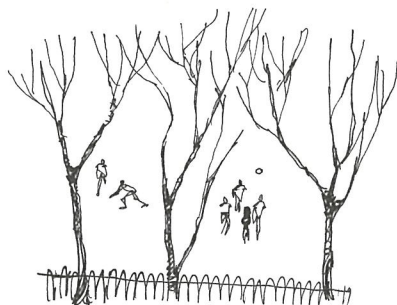
作ミリアム・プレスラー)

於新島記念講堂

● 一年生クラス合宿

7月12日(金)・13日(土)

京都ゼミナールハウスほか7会場にて



香里中高

● 入学式

4月8日(月)

● 始業式

4月9日(火)

● 中一校祖墓参・オリエンテーション

(浜名湖、二泊三日)

4月18日(木)

● PTA総会

4月23日(火)

● 高一校祖墓参・オリエンテーション

(近江八幡、一泊二日)

4月24日(水)

● 遠足

(中二明日香村、中三若草山、高二神戸、高三宇治)

4月25日(木)

● 保健の日

(講師小椋芳子氏「男子の性教育について・全校生徒検診」)

5月8日(水)

● 高一以下中間テスト

5月17日(金)～21日(火)

● 高二高三一斉テスト

5月18日(土)～21日(火)

●中三狂言（柿山伏・附子）鑑賞

5月24日（金）

●教育実習

5月24日（金）～6月6日（木）

●高校スポーツ大会

5月27日（月）

●中学スポーツ大会

5月28日（火）

●花の日礼拝

（講師森脇忠雄牧師）

5月29日（水）

●テレホン情報サービス開始

6月1日（土）

●高二歌舞伎（鳴神）鑑賞

6月1日（土）

●宗教教育強調週間

6月3日（月）～8日（土）

●特別礼拝

（講師上林順一郎牧師）

6月5日（水）

●宗教教育教職員研修会

（講師井上勝也先生「新島襄に魅せられ」）

て）

6月5日（水）

●PTA授業参観懇談

6月7日（金）

●中学第一回学校説明会

（授業公開）

6月8日（土）

●高三文楽（三十三間堂棟由来）鑑賞

6月11日（火）

●中学同和教育アッセンブリアワー

6月13日（木）

●大雨洪水警報発令で臨時休校

6月18日（火）

●教職員同和教育研修会

（講師池田正枝氏「戦後五一年を振り返る」）

6月19日（水）

●学期末考査

6月28日（金）～7月3日（水）

●中学水泳大会

7月5日（金）

●終業式・学校内外大掃除

7月13日（土）

●PTA会誌香里の丘一一八号発行

7月13日（土）

●カナダ語学研修

7月31日（水）～8月20日（火）

女子中高

●創立者永眠記念礼拝

1月23日（火）

『新島襄の青春』 沖田行司

●合同読書会

（同志社大学文学部教授）
（香里中高と） 2月17日（土）

夏目漱石『坊ちゃん』 於本校図書館

●高二保護者会

2月22日（木）

沖縄方面修学旅行及び進学説明会

●卒業式

3月16日（土）

卒業生中学三年 二四三人

高校三年 二六九人

●中二修学旅行

3月17日（日）～19日（火）

行き先 北九州方面

●高二修学旅行

3月17日（日）～20日（水）

行き先 沖縄方面

●スキー学舎

1期高校一年 3月18日（月）～22日（金）

2期中学三年 3月22日（金）～26日（火）

行き先 樺池高原スキー場

●入学式

4月6日（土）

新入学生中学一年 二三八人

高校一年 二六一人

女子部創立記念礼拝

4月20日(土)

『女学校今昔物語——私の同志社』

都岡和子(元同志社女子中高教諭)

春季遠足

5月8日(水)

中一修養会

5月17日(金)～19日(日)

テーマ『なかよくならう』

自分をみつめ、友達を理解して、隣人にならう
於 近江八幡国民休暇村

高等学校総合体育大会

5月18日(土)

春季宗教教育強調週間

6月3日(月)～8日(土)

特別礼拝『このままの姿で』 本田路津子

(教会のコンサート等で活躍中の歌手)

花の日礼拝・施設訪問

6月8日(土)

『空の鳥・野の花』 中村信博

(同志社女子大学助教授)

放課後、花をもって市内八施設を訪問

高校球技大会

6月12日(水)

中学球技大会

6月20日(木)

自転車通学者講習会

6月18日(火)・25日(火)

国際中高

入学式

4月8日(月)

新入生校祖墓参

4月9日(火)

生徒会役員選挙

4月20日(土)

宿泊研修

4月30日(火)～5月1日(水)

4月25日(木)～26日(金)

いずれも京都厚生年金休暇センターにて

スポーツテスト

5月2日(木)

校舎増改築工事起工式

5月31日(金)

芸術鑑賞

5月31日(金)

『間違いの喜劇』(劇団シエークスピアシアター)
於 八幡市民文化センター

春季宗教教育強調週間

6月3日(月)～8日(土)

特別礼拝

6月6日(木)

中学 『弱いときにこそ強い』

講師 上林順一郎(早稲田教会牧師)

高校 『主、我を愛す』

講師 本田路津子(歌手)

教育実習

6月3日(月)～15日(土)

中学遠足

6月13日(木)

1年生 宇治市天ヶ瀬森林公園

2年生 京都市北嵯峨・嵐山方面

3年生 交野市府民の森くろんど園地キヤンプ場

高校球技大会

6月13日(木)

保護者会・授業参観

6月15日(土)

6月22日(土)

フイリップスアカデミー サマーセ

6月26日(水)

編入学試験 7月8日(月)

中学1年生体験学習

7月10日(水)～12日(金)

花背山の家(京都市野外施設)

七月入学式

7月13日(土)

中学生徒個人面談日

7月19日(金)

高校3年生保護者面談

7月20日(土)～21日(日)

中学校

入学試験

1月29日(月)・30日(火)
約八百人の受験者が四試問に挑んだ。

耐寒適応遠足

2月17日(土)
三学年揃って、大原より雪の北山を経て鞍馬へ。

卒業式

卒業生 三百十九人

3月19日(火)

入学式

新入学生 三百二十二人

4月5日(金)

新入生オリエンテーションキャンプ

4月17日(水)～19日(金)

遠足

二期に分けて、滋賀県近江八幡にて。
(二・三年) 4月19日(金)

二年滋賀県松の浦、三年滋賀県希望ヶ岡にて、飯盒炊さんをしながら、新クラスメートとの親睦をふかめる。

生徒会委員研修会

4月20日(土)・21日(日)

宇多野ユースホステルにて、生徒会執行委員と三年ホームルーム委員による研修会。
スポーツテスト 5月1日(水)

生徒大会

5月16日(木)

全校健康診断

5月22日(水)

一学期中間考査

5月23日(木)～25日(土)

新入生にとっては初めての定期考査。

春期宗教教育強調週間

6月3日(月)～8日(土)

上林順一郎(早稲田教会牧師)

平田 義(向島伝道所牧師)

両先生をお迎えして礼拝をもつ。

花の日礼拝・施設訪問

6月7日(金)

花をもって、老人ホーム船岡寮を訪問。

英語暗唱大会

6月15日(土)

合唱コンクール

6月20日(木)

全校各クラスが学年課題曲と自由曲に挑んだ。

